

しんとみ すい どう 水道 だより

新富町水道事業につきまして、日ごろからご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。
水道事業は、皆さまからの水道料金により運営しております。
今回は、令和2年度水道事業会計の決算状況についてお知らせいたします。

◎令和2年度水道事業会計の決算状況

✓水道水をお届けするための収支（収益的収支）

収入	3億205万4,969円 主な収入…水道使用料金(収入の約8割を占めます)、その他の収入等
支出	2億7,474万5,120円 主な支出…水道事業を運営する経費・人件費等、取水場・浄水場・配水池の電気量や施設維持管理費等、給水区域内にある水道管の維持管理費等

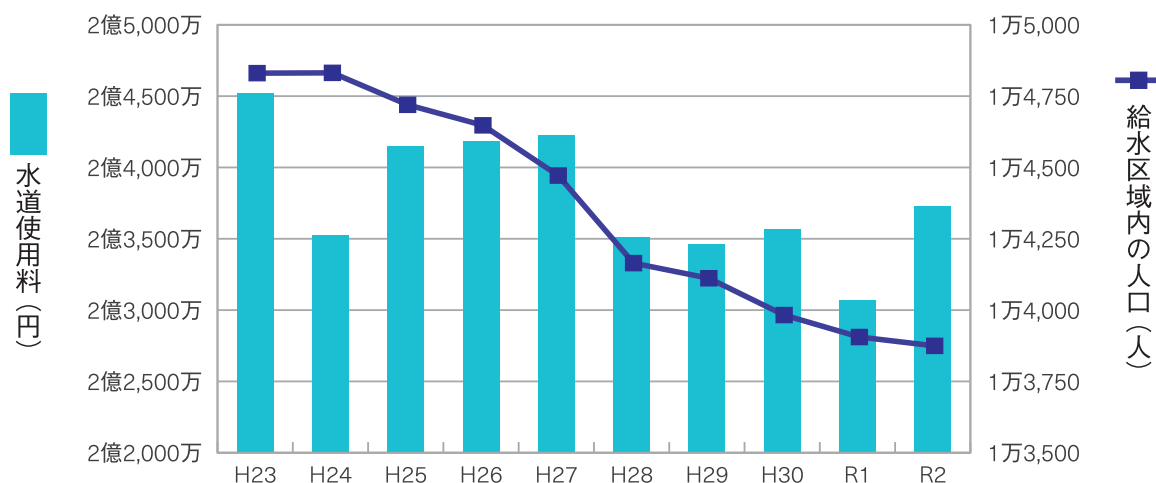
収入から支出を差し引いた2,730万9,849円は、令和2年度の当期純利益となり、建設改良積立金等に充てられ、後年度の設備等更新の財源になります。

✓水道施設を作るための予算（資本的収支）

収入	929万4,600円 主な収入…国・県の補助金、工事負担金等 ※令和2年度に企業債等の借入はありませんでした。
支出	1億2,584万2,574円 主な支出…平伊倉予備水源送水管布設替工事、浄水場発電機室築造工事、東五反田1号線配水管布設工事、藤山～永牟田線配水管布設替工事

支出に対する収入の不足分、1億1,654万7,974円については、損益勘定留保資金等により補填しています。

◎水道使用料および給水人口の推移



このグラフからも、年々給水人口が減少していることがわかります。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による外出控えが、主な要因と思われる水道使用料の一時的な増加はありましたが、全体的には減少傾向となっています。安心・安全な水を安定的に供給するには、老朽化した水道施設を計画的に更新していく必要があります。

令和3年10月25日 第17号 文責：新富町水道課